

熊盲ガイド 1 視覚障がいとは～教育的視機能評価～

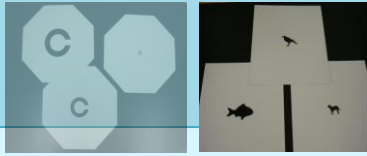
教育的視機能評価

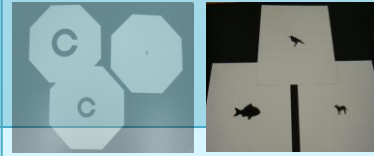
教育的視機能評価は、眼疾の特徴や児童生徒の発達段階に適した方法で行い、学習活動に生かせるものであることが大切です。

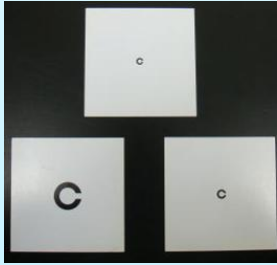
視機能には、視力の他に、視野、色覚、両眼視、眼球運動、光覚、調節等があります。

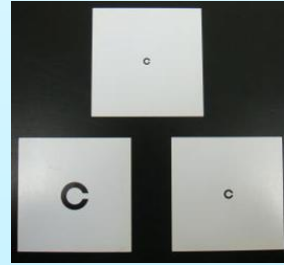
本校の教育相談室にある検査器具を紹介します


検査名	説明	写真
-----	----	----

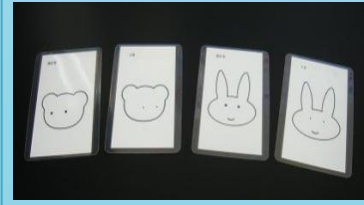
ランドルト環単独視標 (遠見用)	5mの距離から視力（遠距離視力）を測る視標です。 ランドルト環で向きを判断することが難しい場合、描いてある絵を見て視力値を測る絵視標もあります(写真右)。	
---------------------	--	---




ランドルト環単独視標 (近見用)	近距離視力は、目から30cmの距離のところで測定します。 最大視認力は、この視標を見やすい距離に近づけて読めた視標を視距離とともに表したものです。この結果とMNREADの結果を手がかりに本人にとっての学習時のよりよい環境づくりを進めます。	
---------------------	--	--



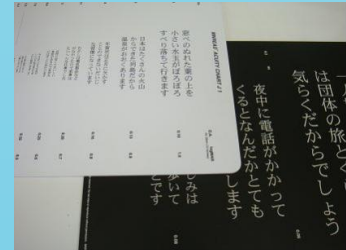
森実（もりざね） ドットカード	30cmの距離から測る視標です。 ウサギやクマのカードで、近距離視力を測定します。ウサギやクマの目（ドット）が視標となっていて、見えた目（ドット）の大きさで視力が分かります。	
--------------------	--	---



テラーアキュイティ カード (TAC)	縞模様が見えると目が追ってしまう反射を利用した測定器具です。ランドルト環での測定にうまく反応できない乳幼児やコミュニケーションのとりにくい子どもの視力測定が可能です。また、中心が見えにくい場合にも測定がしやすいとされています。	
------------------------	---	---



MNREAD (エムエヌ リード)	読書速度、読書に適切な文字サイズ、何とかぎりぎり読書ができる文字サイズを測定するのに適したチャートです。漢字かな交じり文のMNREAD-J、ひらがな文で作られたMNREAD-Jkもあり、どちらも白地に黒文字（通常のコントラスト）と、黒地に白文字（コントラスト反転）の2種類があります。	
----------------------	--	---



<参考文献>『視覚障害教育入門Q&A(全国盲学校校長会)』、『熊盲教育第34号(熊本県立盲学校)』

次回の熊盲ガイド…弱視児童生徒が使用する視覚補助具について